

PROGRAM NOTE

ミニFM局倍増計画

HCJBアジア太平洋地域責任者 タイ・ステーキス [Ty Stakes]



オーストラリアからの日本語放送をいつも聞いておられる皆様に、心からご挨拶申しあげます。

私はHCJBアジア太平洋地区責任者のタイ・ステーキスと申します。アジア太平洋地域とひとくちで言っても、地域によって文化的にかなりな違いがあり、気候風土、風習、食物などピンからキリまで、東西南北の広い範囲にわたって千差万別です。とくに、太平洋地域には、これまた大小さまざまの島々が散在しているので、どこをとっても、変化に富んだ自然環境に恵まれた素晴らしいところばかりです。

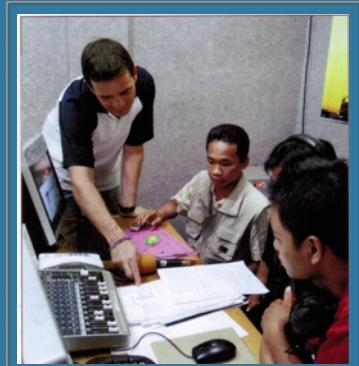
HCJBのこの地域での主な働きは、メルボルンのHCJBスタジオを通してクヌヌラ送信所から送信される短波放送を第一にあげることができます、私が現在主力を注いでいるのは、Radio Plantingというプロジェクトです。名前のとおり、それぞれの地域に出かけていって、その土地に、ローカルFM局ができるように、畑でいえば、種をまいて植え付け、芽生えさせ、それを育てるという仕事です。

それらの放送局設立の対象となるのは、アジア太平洋地域の主要都市ではなく、目立たない地方の町や村です。まず、そこに出かけていき、住んでいる人たちのなかから、自分で放送をしたいという候補者をさがし出します。そして、それらの人たちが、将来は、すべて自主的に、自前で、自在に番組を制作して、FM局として活動できるようになる、その面倒をみる手助けをするのです。

では、ここで、実際に、どのようにして仕事がすすめられているのかを、もっと具体的に説明しましょう。

まず、人さがしからです。ラジオに興味があり、自分も放送をとおして住んでいる地域の住民のために役立ちたいという願いをもっている人をさがし出します。勿論、ただ単にラジオが好きなだけではなく、放送を用いて地域社会に貢献したいという明確な目的と計画をもった人でなくてはなりません。私がこれまでに関係した人たちのほとんどは、すでに、なんらかのかたちで社会福祉的な仕事についていました。孤児院や医療施設や教会など、町の人たちに対して慈善的な奉仕を経験してきた人たちばかりだったので、助けあう社会、愛の共同体づくりという同じ目的の実現に心がとけあっていました。

次に、人材の確保とともに、周辺地域の放送事情をしらべ、法律的にFM局を個人名義で開局することができるのかどうかを確かめなくてはなりま



リスナーからの手紙

私はインドネシアの貧しい村に生まれ、小さい時から苦労して育ちました。結婚生活もうまくいかず、夫は病死。再婚したとき相手がラジオが大好きで私もきくようになりました。クリスチャンの番組をきいたのははじめてでしたが、ほかの局とは違って、喜び、平安、希望など、今まで私が人生で失っていた大切なものをふたたびとりもどすことができました。放送によって新しい生命によみがえったことを感謝しています。



熱心な研修生たちに囲まれて放送技術を教えるステーキスさん。

せん。可能性があれば、すぐに放送局を開設する申請手続きをはじめ、その一方で現地調査に入ります。放送スタジオは どこに、どのくらいの規模でつくるのか 、まわりに他の放送局があって影響しあわいいか、放送用アンテナは建てられるのか、周辺地域を 十分にカバーできるのか、高いビルなどで伝搬に障害はでないかなど、いろいろと条件をあげて綿密な調査をします。

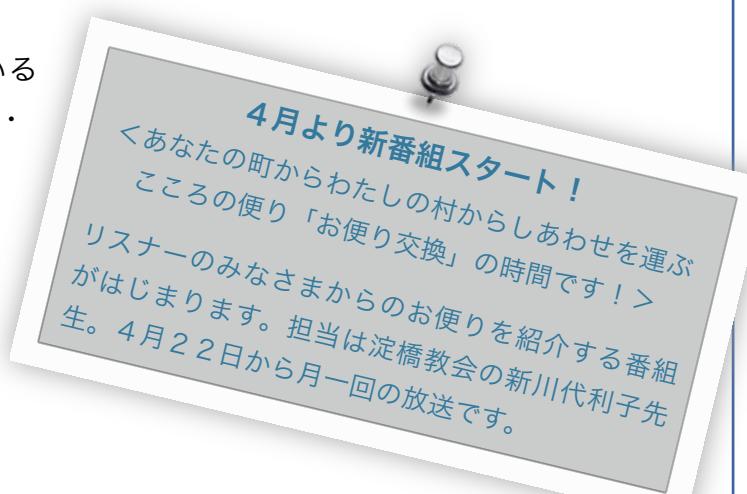
こうして、放送局が出来るまでの条件がいちおうそろったとしても、放送局の経営面をおろそかにはできません。開局してから、日々の運用費、人件費、通信費、事務費などが貯まるめどがたつと準備OKです。そうなると、いよいよ放送機材の搬入です。アメリカ・インディアナ州エルカートにあるHCJB技術センターから放送局に必要な送信機をはじめ、マイクロフォン、コンピューター、ミキサーなど、スタジオ用放送機器一式が送りとどけられます。完成したスタジオからテスト電波が送り出されるころには、放送要員の養成もすっかり終わり、待望の放送開始の日を迎えるのです。

放送がはじまても、放送機器が順調に動くための日頃のメインテナンスは欠かせません。そのためには、操作に異常事態が起きたときの対処法や、パソコン技術などの専門のスタッフが定期的に放送局を巡回して実地指導します。

ざっと、こういうかたちでRadio Plantingの働きはすすめられています。この10年間に、おおよそ60局FM局が各地に誕生しました。今年、2012年には、さらに20局ぐらいの新しい放送局が誕生することになっています。現在の12名のスタッフ一同とともに、おもいをひとつにして、これからも必要とされる場所に出かけて行き、「放送局植え付け」の仕事に励みたいと思っています。

アジア太平洋地域でHCJBグローバルがすすめているRadio Plantingの現状をプロジェクト・チーフのタイ・ステーキスさんにレポートしていただきました。

日本語放送担当
尾崎一夫



『サタデー・トーク』

きき手 尾崎一夫
毎週土曜日放送

4月 7日	誤送信	上海帰りの郁子・牧実姉妹
4月 14日	養蜂家	蓮子哲也さんを訪ねて（2）
4月 21日	日系人養護施設ベテルホームを訪ねて	
4月 28日	HCJBは今・・・	Radio Planting 他

放送後の番組は、ホームページ (<http://japanese.hcjb.org>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。（mp3形式）

放送時間：日本時間午前7時半～8時
(米国アリゾナ制作／オーストラリア送信)

放送周波数： 15525kHz 19mb

HCJB 日本語放送

新住所：HCJB（日本語放送）5701 N INDIAN TRAIL TUCSON AZ 85750 USA